

ティーチング・ステートメント

所属 横浜商科大学

名前 山本 将利

作成日 2020年9月17日

【責任】

* スポーツマネジメントコースの教員として、「スポーツと経営」「スポーツ企業経営」といったスポーツのマネジメントに関連する講義およびゼミの担当をしている。

* 経営コンサルティングにおける実務家としての経験を活かして、コース及び大学の教育にかかわっている。

【理念】

* 大学での学生の学びは、大学受験までの学びと異なり、正解は一つでないこと、主体的に学ぶことを学んでほしいと考えている。

* 多様な考えを知ること、他人を認め尊重しながら、物事に対して自分なりの価値判断ができるような人になってほしいと考えている。

* 多くの情報があふれ返る中で、社会に出てから周囲に流されず、受け身にばかりならないで自分の考えを発言できるような人になってほしいと考えている。

【方針・方法】

* 概要：大学での教育は、知識の伝達が目的ではなく、学生が主体性を持ち知識をもとに自分で考えることを身に着けることが大切であると考えている。また、他人の考えを尊重しながらも、自分の考えを持ち、自分から発信・発言し、他人に理解してもらうことができるようになることが大切であると考えている。

* 方針1：自分の考えを、自分のことばで表現し、他人に理解してもらえるようになることが必要であると考えている。

* 方法1：評価は、期末レポートによる評価、平常時のワークやレポートによる評価としている。作成にあたっては、適切な引用を指導するとともに、インターネットニュース等の複写の禁止、「いわゆるコピー厳禁」を徹底させ、学生には自分のことばで書くように指導している。

* 方法2：毎回何らかのワークを科すように構成し、可能であれば発表や話し合いができるような内容としている

*方針2：統計データなどを用いて、根拠のある説明ができることが大切であると考えている。

*方法3：講義内での説明時には、統計データなどを用いて行うことを心がけ、データの見方や考察方法について話すようにしている。

*方法4：データの出典を明らかにすることや、データを自分で作成する方法について、内容として盛り込むようにしている。

*方針3：学生生活において、さまざまなことに主体的に取り組むことを推奨している。

*方法5：講義、演習の時間内にも、スポーツ観戦などによる主体的な学びを推奨するように心がけている。新型コロナウイルス感染拡大防止下においては、テレビやインターネットによる観戦を推奨し、無観客試合、5,000人までの制限がある試合を見て、通常の状態と比較するように促した。

*方法6：講義時間の前後、その他の時間において、学生からの質問や相談にのるように心がけ、学生の主体的な活動への支援をしている。

【評価・成果】

*Zoomによる講義実施によって学生の出席率が9割（出欠状況）となり極めて高い結果を得た。さらに、講義内でのワークへの取り組み（講義内の課題提出状況）が向上した。

*授業評価においても、わかりやすい、役に立つという肯定的な評価を多くいただき、総合満足度でも9割近くの評価（講義アンケート）をいただいた。

【目標】

*スポーツマネジメントについて、体系的に理解できるように、講義・演習の内容を精査していきたい。今年度から立ち上げた新しいコースであり、4年間で充実した教育を提供できるようにしていく。（2023年度まで）

*学生が社会に出たときに、社会（職業）とスポーツ（マネジメント）とのかかわり方を示すことができるようにしていきたい。